

平成 19 年度

# 一般廃棄物処理の現況

(平成 21 年 8 月)

島根県環境生活部廃棄物対策課



# 目 次

## 概要編

1 . ごみ処理の概要	
( 1 ) ごみの総排出量 .....	1
( 2 ) 各地区の状況 .....	2
2 . ごみの分別収集状況、収集形態の状況	
( 1 ) 全県の状況 .....	4
( 2 ) 各地区の状況 .....	5
3 . ごみ処理施設の状況	
( 1 ) 全県の状況 .....	9
( 2 ) 各地区の状況 .....	10
4 . ごみ減量化・資源化状況	
( 1 ) 全県の状況 .....	23
( 2 ) 地区別の状況 .....	24
5 . 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置 .....	28
6 . し尿処理の概要	
( 1 ) 衛生処理人口 .....	33
( 2 ) し尿処理の状況 .....	34
( 3 ) し尿処理施設 .....	35
7 . 一般廃棄物処理事業の実態	
7-1 廃棄物処理事業経費の概要 .....	36
( 1 ) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要 .....	36
( 2 ) 地区別のごみ処理事業経費の概要 .....	36
7-2 廃棄物処理事業従事職員 .....	40
7-3 委託・許可業者数 .....	40
7-4 一般廃棄物処理業者等関係 .....	40
8 . ダイオキシン類対策等の状況 .....	41



# 概要編



# 1. ごみ処理の概要

## (1) ごみの総排出量

県内のごみ総排出量と処理の推移を表 1-1 及び図 1-1 に計画収集人口の割合を図 1-2 に示す。

平成 19 年度における県内のごみ総排出量は 255,790t であり、前年に比べ約 6.3%の減少となっている。

計画収集人口は 737,579 人で総人口の 99.7%となっている。1 人 1 日当たりごみ排出量は 944g で、前年より 60g 減少している。

ごみ総排出量及び 1 人 1 日当たりごみ排出量は災害廃棄物の発生した平成 18 年度を除くと近年減少傾向が続いている。

表1-1 ごみ排出量と処理の推移

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総人口(人)	760,354	755,527	747,988	744,794	739,982
計画収集人口	755,444	753,206	744,946	742,403	737,579
自家処理人口	4,910	2,321	3,042	2,391	2,403
計画収集率(%)	99.4	99.7	99.6	99.7	99.7
ごみ総排出量(t/年)	268,387	264,111	258,251	272,881	255,790
計画収集量	230,842	230,612	204,419	216,204	206,292
直接搬入量	35,408	31,903	51,467	54,286	47,115
集団回収量	2,137	1,596	2,365	2,391	2,383
ごみ総処理量(t/年)	264,782	253,315	255,886	269,584	253,383
直接焼却	176,686	166,555	173,259	170,346	167,034
焼却以外	79,207	79,396	75,955	79,564	79,911
直接埋立	8,889	7,364	6,672	19,674	6,438
1人1日当たり ごみ排出量(g)	964	958	946	1,004	944
災害廃棄物(t/年)	-	-	-	(997)	-

注) 災害廃棄物は災害廃棄物処理事業国庫補助金の適用を受けて処理を行った量で、ごみ総排出量の内数

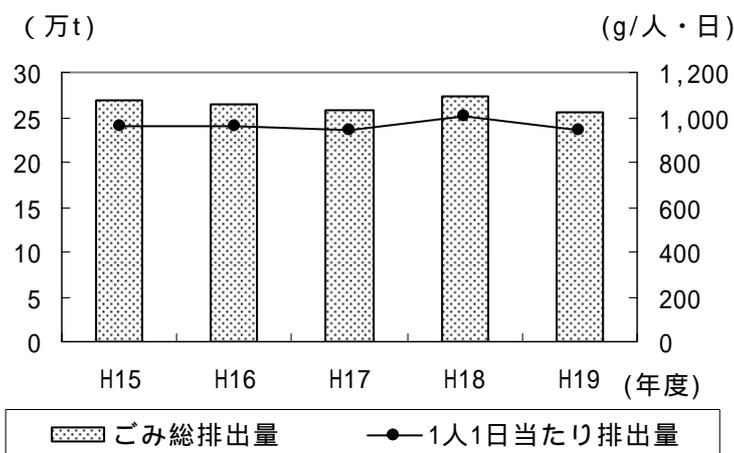


図1-1 ごみ総排出量の推移

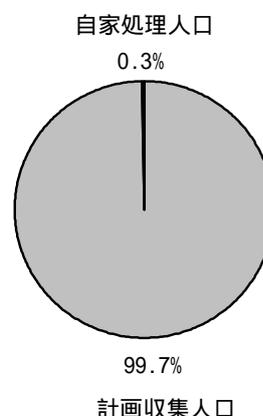


図1-2 計画収集人口の割合

注) ごみ総排出量 (t/年) = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量

ごみ総処理量 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立量

1 人 1 日 当 たり ご み 排 出 量 (g/人・日) = ごみ総排出量 / 総人口 / 365 日 (366 日) × 10<sup>6</sup>

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

松江市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

東出雲町

可燃ごみ処理は、松江市に委託している。

安来市

可燃ごみ処理は、平成 19 年 4 月 25 日より焼却施設を休止し、民間業者へ委託処理している。

当地区のごみ総排出量は 92,858t、処理量合計は 92,416t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 1,006g と県平均の 944g を上回っている。

< 出雲地区 >

奥出雲町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

雲南市，飯南町

可燃ごみ処理は、雲南市の旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町はごみ燃料化施設で行っている。雲南市の旧吉田村、旧掛合町及び飯南町では、中継施設を経由して出雲市に委託している。

出雲市

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

斐川町

可燃ごみ処理は、出雲市に委託している。

当地区のごみ総排出量は 83,018t、処理量合計は 81,686t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 933g と県平均の 944g を下回っている。

< 浜田地区 >

大田市

可燃ごみ処理は、中継施設を経由し、出雲市に委託している。

川本町，美郷町，邑南町

可燃ごみ処理は、邑智郡総合事務組合で行っている。

浜田市，江津市

可燃ごみ処理は、浜田地区広域行政組合で行っている。

益田市，津和野町，吉賀町

可燃ごみ処理は、益田地区広域市町村圏事務組合で行っている。

当地区のごみ総排出量は 69,626t、処理量合計は 68,993t であり、1 人 1 日当たりごみ排出量は 859g と県平均の 944g を下回っている。

< 隠岐地区 >

隠岐の島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

海士町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

西ノ島町

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

知夫村

可燃ごみ処理は、単独で行っている。

当地区のごみ総排出量は 10,288t、処理量合計は 10,288t であり、1 人 1 日当たり  
ごみ排出量は 1,211g と県平均の 944g を大きく上回っている。

表 1-2 各地区のごみ総排出量と処理内訳

区 分	松江地区	出雲地区	浜田地区	隠岐地区
総人口(人)	252,098	243,095	221,562	23,218
計画収集人口	252,098	241,876	220,378	23,218
自家処理人口	0	1,219	1,184	0
計画収集率(%)	100.0	99.5	99.5	100.0
ごみ総排出量(t/年)	92,858	83,018	69,626	10,288
計画収集量	67,501	73,968	60,021	4,802
直接搬入量	24,896	7,772	8,961	5,486
集団回収量	461	1,278	644	0
ごみ総処理量(t/年)	92,416	81,686	68,993	10,288
直接焼却	58,154	51,409	48,735	8,736
焼却以外	33,768	24,978	20,236	929
直接埋立	494	5,299	22	623
1人1日当たり ごみ排出量(g)	1,006	933	859	1,211

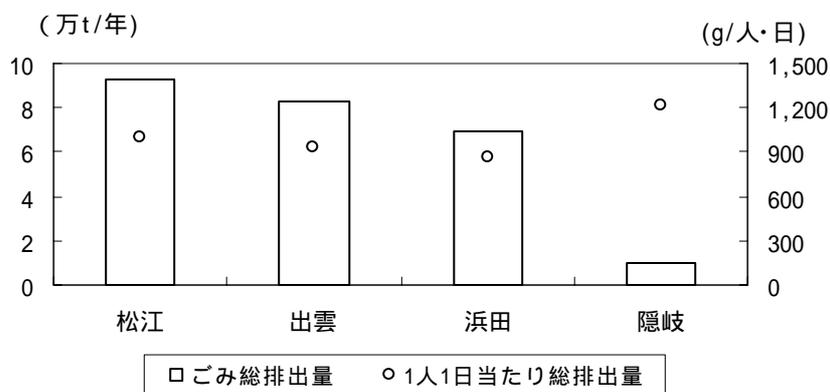


図1-3 ブロック別ごみ排出量

## 2. ごみの分別収集状況、収集形態の状況

### (1) 全県の状況

県内のごみ収集並びに処理の内訳を表2-1、ごみの収集内訳を図2-1、ごみの処理内訳を図2-2に示す。

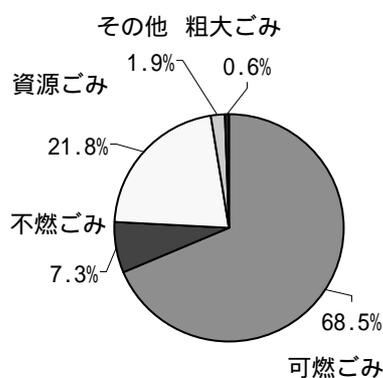
平成19年度に市町村が処理したごみ量は253,383tであり、収集内訳は、可燃ごみ68.5%、不燃ごみ7.3%、資源ごみ21.8%、その他1.9%、粗大ごみ0.6%であった。

処理内訳では、167,034t(65.9%)は直接焼却され、79,911t(31.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの6,438t(2.5%)は直接埋立とされている。

県全体で55,941tがごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると58,324tが資源化された。

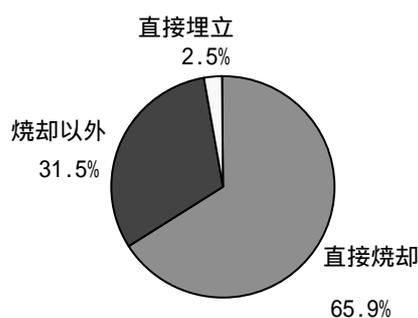
表2-1 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

県全体		平成19年度
計画収集量		206,292
収集内訳	可燃ごみ	141,313
	不燃ごみ	15,010
	資源ごみ	44,898
	その他	3,925
	粗大ごみ	1,146
直接搬入量		47,115
集団回収量		2,383
総排出量		255,790
自家処理量		1,211
処理内訳	中間	
	直接焼却	167,034
	焼却以外	79,911
	最終処分	
	直接埋立	6,438
	焼却残渣	17,539
	破碎圧縮	18,720
資源化		55,941
処理合計		253,383
リサイクル率(%)		22.8
1人1日当たりごみ総排出量(g)		944



四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-1 ごみの収集内訳



四捨五入しているため合計が100%にならない。

図2-2 ごみの処理内訳

注) リサイクル率(%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-2、ごみの収集内訳を図 2-3、ごみの処理内訳を図 2-4 に示す。

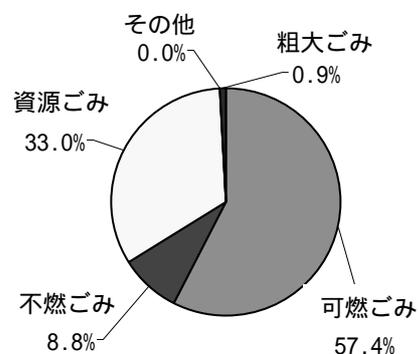
平成 19 年度に当地区内で処理されたごみ量は 92,416t であり、収集内訳は、可燃ごみ 57.4%、不燃ごみ 8.8%、資源ごみ 33.0%、粗大ごみ 0.9%であった。

処理内訳では、58,154t(62.9%)が直接焼却され、33,768t(36.5%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残りの 494t(0.5%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 22,484t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 22,945t が資源化された。

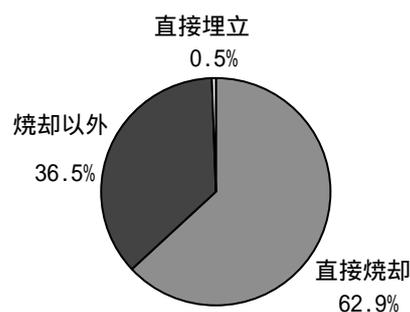
表 2-2 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

松江地区		平成19年度
計画収集量		67,501
収集内訳	可燃ごみ	38,728
	不燃ごみ	5,913
	資源ごみ	22,244
	その他	0
	粗大ごみ	616
直接搬入量		24,896
集団回収量		461
総排出量		92,858
自家処理量		0
処理内訳	中 直接焼却	58,154
	焼却以外	33,768
	最終処分 直接埋立	494
	焼却残渣	6,509
	破碎圧縮	9,212
	資源化	22,484
処理合計		92,416
リサイクル率 (%)		24.7
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		1,006



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-3 ごみの収集内訳



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-4 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 出雲地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-3、ごみの収集内訳を図 2-5、ごみの処理内訳を図 2-6 に示す。

平成 19 年度に当地区内で処理されたごみ量は 81,686t であり、収集内訳は、可燃ごみ 75.0%、不燃ごみ 5.7%、資源ごみ 14.4%、その他 4.7%、粗大ごみ 0.2%であった。

処理内訳では、51,409t(62.9%)が直接焼却され、24,978t(30.6%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 5,299t(6.5%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 17,897t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 19,175t が資源化された。

表 2-3 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

出雲地区		平成19年度	
計画収集量		73,968	
収集内訳	可燃ごみ	55,479	
	不燃ごみ	4,191	
	資源ごみ	10,676	
	その他	3,480	
	粗大ごみ	142	
直接搬入量		7,772	
集団回収量		1,278	
総排出量		83,018	
自家処理量		765	
処理内訳	中	直接焼却	51,409
	間	焼却以外	24,978
	最終処分	直接埋立	5,299
		焼却残渣	5,290
		破碎圧縮	3,945
		資源化	17,897
	処理合計		81,686
リサイクル率 (%)		23.1	
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		933	

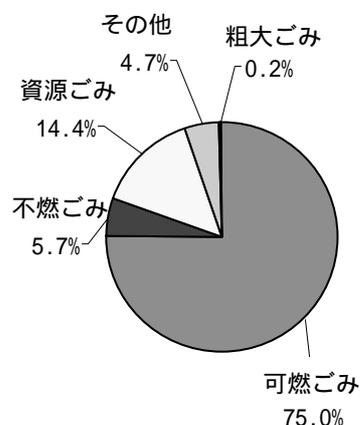


図2-5 ごみの収集内訳

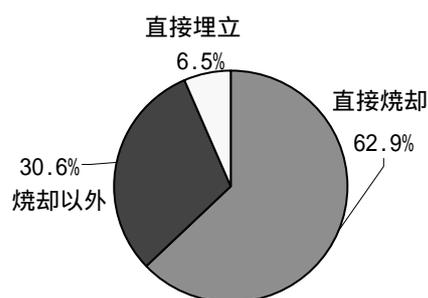


図2-6 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 浜田地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-4、ごみの収集内訳を図 2-7、ごみの処理内訳を図 2-8 に示す。

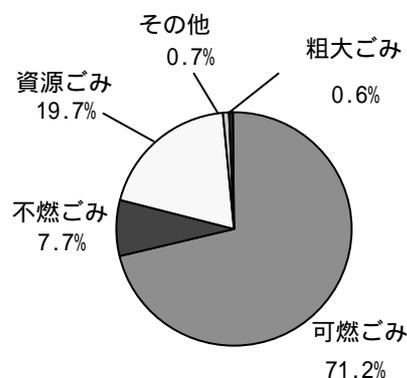
平成 19 年度に当地区内で処理されたごみ量は 68,993t であり、収集内訳は、可燃ごみ 71.2%、不燃ごみ 7.7%、資源ごみ 19.7%、その他 0.7%、粗大ごみ 0.6%であった。

処理内訳では、48,735t(70.6%)が直接焼却され、20,236t(29.3%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 22t(0.1%未満)は直接埋立とされている。

当地区全体で 15,041t がごみから分別・資源化された。集団回収量を含めると 15,685t が資源化された。

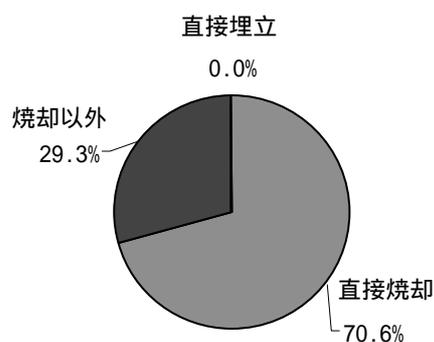
表 2-4 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

浜田地区		平成19年度
計画収集量		60,021
収集内訳	可燃ごみ	42,743
	不燃ごみ	4,640
	資源ごみ	11,835
	その他	445
	粗大ごみ	358
直接搬入量		8,961
集団回収量		644
総排出量		69,626
自家処理量		446
処理内訳	中間	
	直接焼却	48,735
	焼却以外	20,236
	最終処分	
	直接埋立	22
	焼却残渣	4,203
破碎圧縮	5,271	
資源化	15,041	
処理合計		68,993
リサイクル率 (%)		22.5
1人1日当たりごみ総排出量 (g)		859



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-7 ごみの収集内訳



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-8 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

< 隠岐地区 >

当地区のごみ収集並びにごみ処理の内訳を表 2-5、ごみの収集内訳を図 2-9、ごみの処理内訳を図 2-10 に示す。

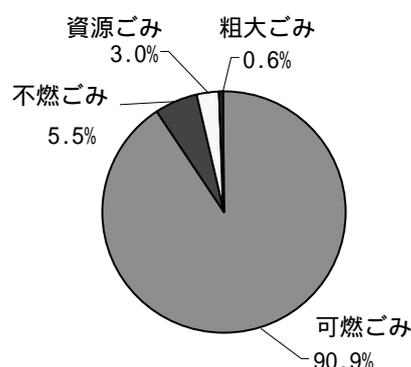
平成 19 年度に当地区内で処理されたごみ量は 10,288t であり、収集内訳は、可燃ごみ 90.9%、不燃ごみ 5.5%、資源ごみ 3.0%、粗大ごみ 0.6%であった。

処理内訳では 8,736t(84.9%)が直接焼却され、929t(9.0%)は破碎・圧縮等焼却以外の中間処理、残り 623t(6.1%)は直接埋立とされている。

当地区全体で 519t がごみから分別・資源化された。

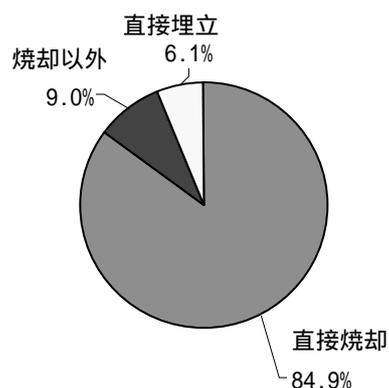
表 2-5 ごみ収集並びにごみ処理の内訳

隠岐地区		平成19年度
計画収集量		4,802
収集内訳	可燃ごみ	4,363
	不燃ごみ	266
	資源ごみ	143
	その他	0
	粗大ごみ	30
直接搬入量		5,486
集団回収量		0
総排出量		10,288
自家処理量		0
処 間	中 直接焼却	8,736
	焼却以外	929
最 終 処 理 内 訳	直接埋立	623
	焼却残渣	1,537
	破碎圧縮	292
	資源化	519
処理合計		10,288
リサイクル率 (%)		5.0
1人1日当たり ごみ総排出量 (g)		1,211



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-9 ごみの収集内訳



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図2-10 ごみの処理内訳

注) リサイクル率 (%) = (資源化量 + 集団回収量) / (処理合計 + 集団回収量) × 100  
 処理合計 = 直接焼却 + 焼却以外 + 直接埋立

### 3. ごみ処理施設の状況

#### (1) 全県の状況

平成 19 年度末現在における県内のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-1、2 に示す。

県内のごみ焼却施設は 11 施設(処理能力 766.06 t/日)、ごみ燃料化施設は、1 施設(処理能力 30t/日)である。可燃ごみを焼却施設まで運搬するための中継施設は 2 施設、資源化等施設は 17 施設、粗大ごみ処理施設は 13 施設、保管施設は 14 施設である。

埋立中の最終処分場は 29 施設あり、全体埋立容量は 1,981,436m<sup>3</sup>、残余容量は 790,666 m<sup>3</sup>となっている。

表3-1 ごみ処理施設の状況

施設	施設数 <sup>1</sup>	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	11	766.06	-
ごみ燃料化施設	1	30	-
中継施設	2	60	-
資源化等の施設	17	230.17	-
粗大ごみ処理施設	13	258.0	-
保管施設	14	27,334(t/年度) <sup>3</sup>	-
最終処分場	29	1,981,436 (m <sup>3</sup> )	790,666 (m <sup>3</sup> )

1. 休止、埋立終了、廃止、整備中の施設は含まない。
2. 保管施設の処理能力は、平成 19 年度保管量である。

表3-2 焼却施設の状況

種類	焼却		ガス化溶融 (キルン式)	ごみ燃料化 (RDF)	合計
	全連続	バッチ			
炉型式	全連続	バッチ	全連続		
施設数	3	6	2	1	12
規模(t/日)	374.5	75.56	316	30	796.06

ごみ燃料化施設(RDF)及びガス化溶融施設は、可燃ごみを処理する施設であるため焼却施設として計上した。

(2) 各地区の状況

< 松江地区 >

松江市・東出雲町

松江市・東出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-3、4に示す。

ごみ焼却施設は2施設(処理能力312.5t/日)で、共に全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は3施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は5施設あり、全体埋立容量は756,222m<sup>3</sup>、残余容量は230,630m<sup>3</sup>となっている。

表3-3 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	2	312.5	-
資源化等の施設 <sup>1</sup>	3	91	-
粗大ごみ処理施設	1	59	
保管施設	3	14,995(t/年度) <sup>2</sup>	-
最終処分場 <sup>3</sup>	5	756,222(m <sup>3</sup> )	230,630(m <sup>3</sup> )

1. 休止した施設は含まない。

2. 保管施設の処理能力は、平成19年度保管量である。

3. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-4 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
松江市	南工場	112.5	焼却	全連続
	北工場	200	焼却	全連続

安来市

安来市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-5、6に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力52t/日)で平成19年4月25日より休止中である。

粗大ごみ処理施設は3施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は99,304m<sup>3</sup>、残余容量は57,653m<sup>3</sup>となっている。

表3-5 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	(1) <sup>1</sup>	52	-
粗大ごみ処理施設	3	40	-
最終処分場	3	99,304 (m <sup>3</sup> )	57,653 (m <sup>3</sup> )

1.ごみ焼却施設は平成19年4月25日より休止中。

表3-6 焼却施設の状況(休止中)

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
安来市	清瀬クリーンセンター	52	焼却	准連続

< 出雲地区 >

奥出雲町

奥出雲町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-7、8 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 20 t /日)で、バッチ運転による処理を行っている。

粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 31,360m<sup>3</sup>、残余容量は 9,748m<sup>3</sup>となっている。

表3-7 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	20	-
粗大ごみ処理施設	1	7	-
保管施設	1	237 (t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	1	31,360 (m <sup>3</sup> )	9,748 (m <sup>3</sup> )

1.保管施設の処理能力は、平成 19 年度保管量である。

2.埋立が終了した施設は含まない。

表3-8 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
奥出雲町	仁多可燃物 処理センター	20	焼却	バッチ

雲南市・飯南町

雲南市・飯南町のごみ処理施設の状況とごみ燃料化施設及び中継施設の状況を表3-9～11に示す。

雲南市のうち旧大東町、旧加茂町、旧木次町、旧三刀屋町の可燃ごみは、ごみ燃料化施設で処理を行っている。また、雲南市のうち旧吉田村、旧掛合町、飯南町の可燃ごみは、中継施設において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は2施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は41,300m<sup>3</sup>、残余容量は34,136m<sup>3</sup>となっている。

表3-9 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ燃料化施設	1	30	-
中継施設	1	15	-
資源化等の施設	2	14.9	-
保管施設	2	1,030(t/年度) <sup>2</sup>	-
最終処分場 <sup>3</sup>	3	41,300(m <sup>3</sup> )	34,136(m <sup>3</sup> )

1. 保管施設の処理能力は、平成19年度保管量である。

3. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-10 ごみ燃料化施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類
雲南市・飯南町 事務組合	雲南エネルギー センター	30	ごみ燃料化

表3-11 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
雲南市・飯南町 事務組合	いいしクリーンセンター	15	圧縮・梱包

出雲市・斐川町

出雲市・斐川町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-12、13に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力218t/日)で、全連続運転によるガス化溶融(キルン式)処理が行われている。

資源化等施設は2施設、粗大ごみ処理施設は3施設、保管施設は2施設である。

埋立中の最終処分場は4施設あり、全体埋立容量は528,231m<sup>3</sup>、残余容量は308,491m<sup>3</sup>となっている。

表3-12 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	218	-
資源化等の施設	2	75	-
粗大ごみ処理施設	3	83	-
保管施設	2	7,193(t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	4	528,231(m <sup>3</sup> )	308,491(m <sup>3</sup> )

1. 保管施設の処理能力は、平成19年度保管量である。

2. 埋立が終了した施設は含まない。

表3-13 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
出雲市	出雲エネルギーセンター	218	ガス化溶融(キルン式)	全連続

< 浜田地区 >

大田市

大田市のごみ処理施設の状況と中継施設の状況を表 3-14、15 示す。

可燃ごみ処理は、一般廃棄物運搬中継・中間処理施設(中継施設)において、圧縮・梱包処理後、出雲エネルギーセンターへ搬出している。

資源化等施設は 3 施設、粗大ごみ処理施設は 1 施設、保管施設は 3 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 112,648m<sup>3</sup>、残余容量は 8,686m<sup>3</sup>となっている。

表3-14 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
中継施設	1	45	-
資源化等の施設	3	11	-
粗大ごみ処理施設	1	25	-
保管施設	3	1,672 (t/年度)	-
最終処分場	3	112,648 (m <sup>3</sup> )	8,686 (m <sup>3</sup> )

保管施設の処理能力は、平成 19 年度保管量である。

表3-15 中継施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	処理内容
大田市	一般廃棄物運搬 中継・中間処理施設	45	破碎・圧縮・ 梱包

川本町・美郷町・邑南町

川本町・美郷町・邑南町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-16、17に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力12t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は14,300m<sup>3</sup>、残余容量は8,285m<sup>3</sup>となっている。

表3-16 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	12	-
資源化等の施設	1	1.7	-
粗大ごみ処理施設	1	5	-
保管施設	1	1,304(t/年度)	-
最終処分場	1	14,300(m <sup>3</sup> )	8,285(m <sup>3</sup> )

保管施設の処理能力は、平成19年度保管量である。

表3-17 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
邑智郡総合事務組合	笹畑クリーンセンター ごみ焼却施設	12	焼却	バッチ

浜田市・江津市

浜田市・江津市のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-18、19 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 98 t /日)で、全連続運転によるガス化溶融(シャフト式)による処理を行っている。

資源化等施設は 2 施設、粗大ごみ処理施設は 2 施設である。

埋立中の最終処分場は 3 施設あり、全体埋立容量は 136,200m<sup>3</sup>、残余容量は 24,138m<sup>3</sup>となっている。

表3-18 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	98	-
資源化等の施設	2	10.77	-
粗大ごみ処理施設	2	34	-
最終処分場	3	136,200 (m <sup>3</sup> )	24,138 (m <sup>3</sup> )

埋立が終了した施設は含まない。

表3-19 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
浜田地区広域 行政組合	エコクリーンセンター	98	ガス化溶融 ・改質	シャフト式

益田市・津和野町・吉賀町

益田市・津和野町・吉賀町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-20、21に示す。

ごみ焼却施設は1施設(処理能力62t/日)で、全連続運転による処理を行っている。

資源化等施設は2施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は3施設あり、全体埋立容量は156,871m<sup>3</sup>、残余容量は28,939m<sup>3</sup>となっている。

表3-20 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	62	-
資源化等の施設	2	22.1	-
保管施設	1	851(t/年度) <sup>1</sup>	-
最終処分場 <sup>2</sup>	3	156,871(m <sup>3</sup> )	28,939(m <sup>3</sup> )

1.保管施設の処理能力は、平成19年度保管量である。

2.埋立が終了した施設は含まない。

表3-21 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
益田地区広域市町村圏事務組合	益田地区広域クリーンセンター	62	焼却	全連続

< 隠岐地区 >

隠岐の島町

隠岐の島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-22、23 に示す。

ごみ焼却施設は 1 施設(処理能力 25 t /日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は 1 施設である。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 80,000m<sup>3</sup>、残余容量は 64,318m<sup>3</sup>となっている。

表3-22 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	25	-
資源化等の施設	1	2.7	-
最終処分場	1	80,000 (m <sup>3</sup> )	64,318 (m <sup>3</sup> )

埋立が終了した施設は含まない。

表3-23 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
隠岐の島町	島後清掃センター	25	焼却	バッチ

## 海士町

海士町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表3-24、25に示す。

海士町のごみ焼却施設は1施設(処理能力7t/日)で、バッチ運転による処理を行っている。

資源化等施設は1施設、粗大ごみ処理施設は1施設、保管施設は1施設である。

埋立中の最終処分場は1施設あり、全体埋立容量は12,000m<sup>3</sup>、残余容量は9,360m<sup>3</sup>となっている。

表3-24 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量(H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	7	-
資源化等の施設	1	1	-
粗大ごみ処理施設	1	5	
保管施設	1	52(t/年度)	-
最終処分場	1	12,000(m <sup>3</sup> )	9,360(m <sup>3</sup> )

保管施設の処理能力は、平成19年度保管量である。

表3-25 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力(t/日)	種類	炉型式
海士町	海士町清掃センター	7	焼却	バッチ

西ノ島町

西ノ島町のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-26、27 に示す。

西ノ島町のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 10t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

埋立中の最終処分場は 1 施設あり、全体埋立容量は 13,000m<sup>3</sup>、残余容量は 6,282m<sup>3</sup>となっている。

表3-26 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	10	-
最終処分場	1	13,000 (m <sup>3</sup> )	6,282 (m <sup>3</sup> )

表3-27 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
西ノ島町	清美苑	10	焼却	バッチ

知夫村

知夫村のごみ処理施設の状況と焼却施設の状況を表 3-28、29 に示す。

知夫村のごみ焼却施設は 1 施設（処理能力 1.56t/日）で、バッチ運転による処理を行っている。

表3-28 ごみ処理施設の状況

施設	施設数	処理能力(t/日)	残余容量 (H20.3月末)
ごみ焼却施設	1	1.56	-

表3-29 焼却施設の状況

自治体名	施設名称	処理能力 (t/日)	種類	炉型式
知 夫 村	知 夫 村 焼 却 場	1.56	焼却	バッチ

## 4. ごみ減量化・資源化状況

### (1) 全県の状況

県内における資源化の状況を表4-1、市町村による資源化の内訳を図4-1、集団回収の内訳を図4-2に示す。

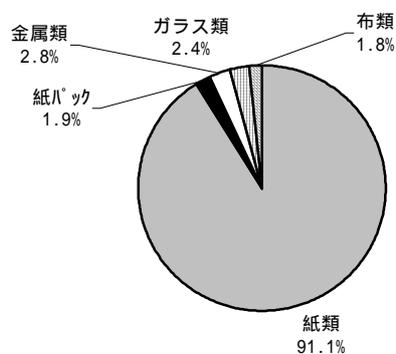
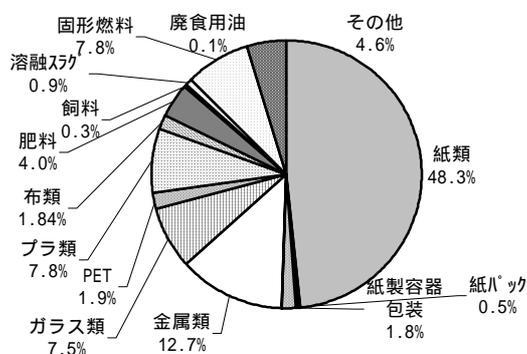
平成19年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は55,941tであった。その内、紙類が27,025t(48.3%)で最も多く、次に、金属類7,106t(12.7%)、固形燃料4,367t(7.8%)であった。

また、集団回収により資源された量は2,383tであり、紙類が2,169t(91.1%)とほとんどを占めている。

表4-1 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	プラ類
市町村	27,025	296	1,022	7,106	4,170	1,036	4,346
集団回収	2,169	45	0	67	58	0	0

区分	布類	肥料	飼料	溶融スラグ	固形燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	1,032	2,253	154	482	4,367	56	2,596	55,941
集団回収	44	-	-	-	-	-	0	2,383



四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-1 市町村による資源化の内訳

図4-2 集団回収の内訳

(2) 地区別の状況

< 松江地区 >

当地区における資源化の状況を表4-2、市町村による資源化の内訳を図4-3、集団回収の内訳を図4-4に示す。

平成19年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は22,484tであった。その内、紙類が11,095t(49.3%)で最も多く、次に、プラスチック類2,457t(10.9%)、金属類2,199t(9.8%)であった。

また、集団回収により資源化された量は461tであり、紙類が418t(90.7%)とほとんどを占めている。

表4-2 資源化の状況

区分	紙類	紙パック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	プラ類
市町村	11,095	39	755	2,199	1,684	432	2,457
集団回収	418	43	0	0	0	0	0

区分	布類	肥料	飼料	溶融スラグ	固形化燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	701	2,253	154	0	468	33	214	22,484
集団回収	0	-	-	-	-	-	0	461

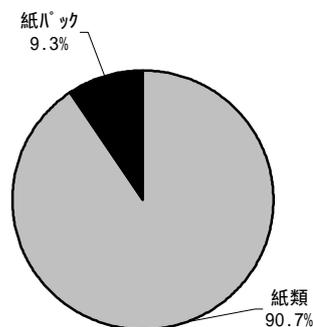
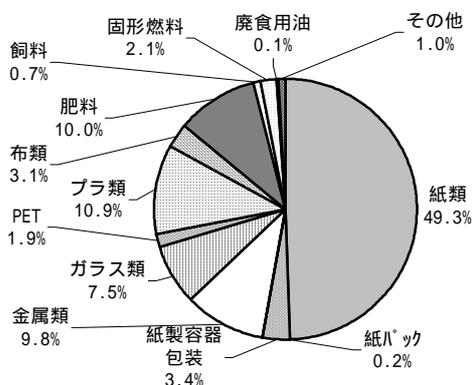


図4-3 市町村による資源化の内訳

図4-4 集団回収の内訳

< 出雲地区 >

当地区における資源化の状況を表 4-3、市町村による資源化の内訳を図 4-5、集団回収の内訳を図 4-6 に示す。

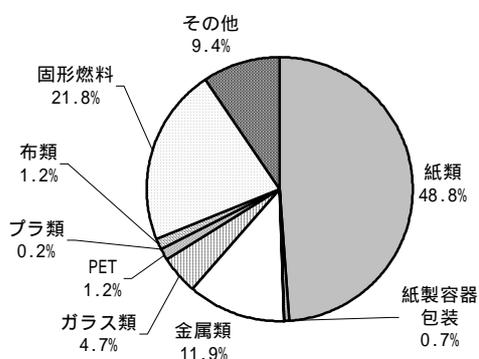
平成 19 年度に市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 17,897t であった。その内、紙類が 8,740t(48.8%)で最も多く、次に固形燃料 3,899t (21.8%)、金属類 2,138t(11.9%)であった。

また、集団回収により資源化された量は 1,278t であり、紙類が 1,191t(93.2%)とほとんどを占めている。

表4-3 資源化の状況

区 分	紙類	紙パ <sup>ッ</sup> ク	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	プラ類
市町村	8,740	3	128	2,138	835	216	43
集団回収	1,191	0	0	48	18	0	0

区 分	布類	肥料	溶融スラ <sup>ク</sup>	固形化 燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	207	0	0	3,899	4	1,684	17,897
集団回収	21	-	-	-	-	0	1,278



四捨五入しているため合計が 100%にならない。

図4-5 市町村による資源化の内訳

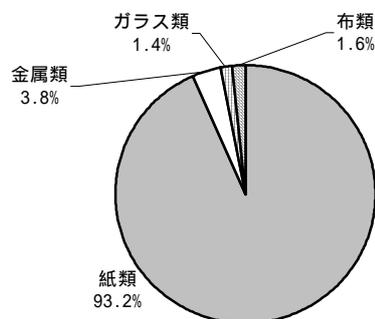


図4-6 集団回収の内訳

< 浜田地区 >

当地区における資源化の状況を表4-4、市町村による資源化の内訳を図4-7、集団回収の内訳を図4-8に示す。

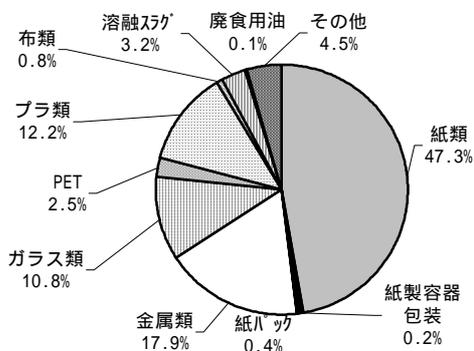
平成19年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は15,041tであった。その内、紙類が7,121t(47.3%)で最も多く、次に金属類2,685t(17.9%)、プラスチック類1,842t(12.2%)であった。

また、集団回収により資源化された量は644tであり、紙類が560t(87.0%)とほとんどを占めた。

表4-4 資源化の状況

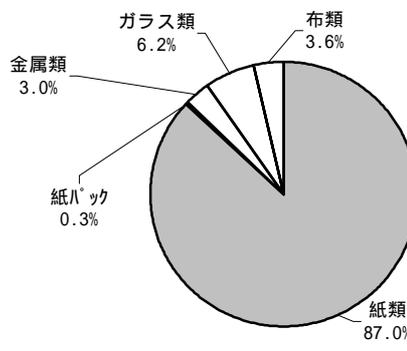
区分	紙類	紙ハック	紙製容器包装	金属類	ガラス類	PET	プラ類
市町村	7,121	53	34	2,685	1,620	382	1,842
集団回収	560	2	0	19	40	0	0

区分	布類	肥料	溶融スラグ	固形燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	122	0	482	0	19	681	15,041
集団回収	23	-	-	-	-	0	644



四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-7 市町村による資源化の内訳



四捨五入しているため合計が100%にならない。

図4-8 集団回収の内訳

< 隠岐地区 >

隠岐地区における資源化の状況を表 4-5、市町村による資源化の内訳を図 4-9 に示す。

平成 19 年度に当地区の市町村等における分別収集により直接資源化された量及び中間処理後に再生利用された量は 519t であった。その内、紙パックが 201t ( 38.7% ) で最も多く次に紙製容器包装 105t(20.2%)、金属類 84t(16.2%)であった。

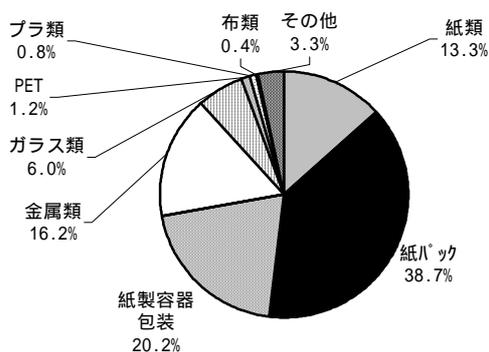
集団回収は行われていない。

表4-5 資源化の状況

区 分	紙類	紙パッ	紙製容器 包装	金属類	ガラス類	PET	プラ類
市町村	69	201	105	84	31	6	4

区 分	布類	肥料	溶融スラ	固化化 燃料	廃食用油	その他	計 (t/年)
市町村	2	0	0	0	0	17	519



四捨五入しているため合計が 100% にならない。

図4-9 市町村による資源化の内訳

## 5 . 廃棄物減量化に対する施策、住民支援措置

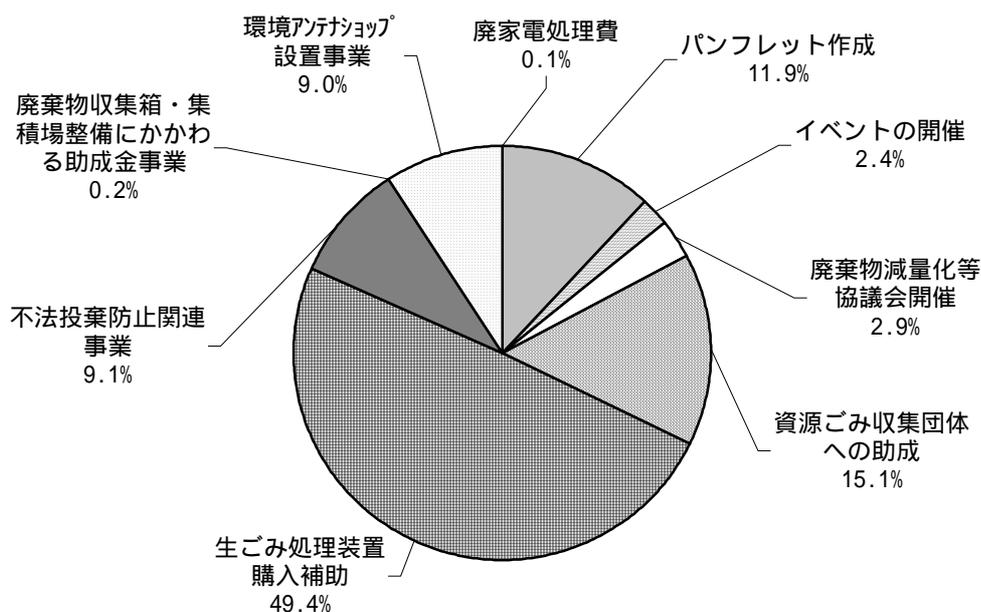
平成20年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業について表5-1、可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系、事業系)について表5-2~4、生ごみ処理機等の購入に対する補助について表5-5、事業予定額の内訳について図5-1に示す。

生ごみ堆肥化装置の設置助成や資源ごみ回収団体への助成等住民への支援事業が多く行われている。

表5-1 平成20年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業

事業類型	事業名	自治体数	当初予算額(千円)
啓発資料作成等	パンフレット作成	6	5,557
イベント等の開催	リサイクルバザーの開催	1	0
	イベントの開催	5	1,110
	環境アンテナショップ <sup>o</sup> 設置事業	1	4,200
ごみ減量化に関する助成	廃棄物減量化等協議会開催	4	1,339
	資源ごみ回収への助成	5	7,053
	生ごみ堆肥化装置の設置補助	12	23,099
	資源ごみ回収機器の貸出	1	0
啓発事業等	不法投棄防止事業	12	4,253
分別収集促進事業	廃棄物収集箱・集積場整備にかかわる助成金事業	1	105
	廃家電処理費	1	38

注)生ごみ堆肥化装置の設置補助額は実績。



注)生ごみ堆肥化装置の設置補助額はH20年度実績。  
四捨五入しているため合計が100%にならない。

図5-1 平成20年度ごみの減量化・再生利用の促進に関する事業予定額の内訳

表5-2 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 20 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ	12/15/18 円	高密度ポリエチレン(炭酸カルシウム10%)
	不燃	半透明(緑)	30/45ℓ	16/19 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ	16/19 円	低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	緑 粗大シール	400×500mm	10.5/21/31.5 円 210 円	中密度ポリエチレン
	"		500×650mm		
	"		700×800mm		
	不燃	青 粗大シール	400×500mm	10.5/21/31.5 円 210 円	低密度ポリエチレン
	"		500×650mm		
	"		700×800mm		
資源	水色,灰	500×650mm	10.5/15.75 円	低密度ポリエチレン	
"		700×800mm	10.5 円	"	
出雲市	可燃	半透明(乳白)	25/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	25/45ℓ	30/50 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	25/45ℓ	5/10 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃(大)	半透明(黄色)	800×600/420mm	60 円	高密度ポリエチレン+デンロンLL(柔軟材)10% 混入
	"(小)	"	700×540/350mm	40 円	
	不燃	半透明(薄色) "	870×650/460mm	50 円	低密度ポリエチレン
	"		700×550/390mm	30 円	
資源	透明	870×650/460mm	20 円	低密度ポリエチレン	
大田市	可燃	半透明(黄)	20/30/45ℓ	25/30/50 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	30/45ℓ	30/50 円	低密度ポリエチレン
	資源	半透明(白)	45ℓ	無料	低密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄)	15/30/45ℓ	25/35/45 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明	15/30/45ℓ	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	15/30/45ℓ	25/30/35 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	黄	15/30/45ℓ	15/20/30 円	高密度ポリ袋
雲南市	可燃	半透明(黄)	20/40ℓ	30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42 円	高密度ポリエチレン
東出雲町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	15/18 円	70μm入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明	45ℓ	30 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明	30/45ℓ	12/15 円	低密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	半透明	30/45ℓ	10.7 円	炭加入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青・緑・黄)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ	42/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	20/40ℓ	30/44 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	4.2 円	高密度ポリエチレン
斐川町	可燃	半透明(乳白)	600×500mm	25 円	活性炭入り70μm入り高密度ポリエチレン
	"	半透明(黄)	800×650mm	50 円	
	不燃	透明	600×500mm	25 円	
川本町	可燃	半透明	10/25ℓ	30/60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明	25ℓ	30 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(水色・ピンク・黄緑)	45ℓ	15 円	高密度ポリエチレン
	粗大	シール	5 枚綴り	30 円	
美郷町	可燃	半透明(白)	10/25ℓ	31.5/63 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(白)	25ℓ	31.5 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(赤・緑・青)	25/45ℓ	15.7/15.7 円	高密度ポリエチレン
	粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-3 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(生活系)

平成 20 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値 段	材 質
				1 枚あたり	
邑南町	可燃	半透明(白)	10/25 $l$	31/63 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	不燃	半透明(白)	25 $l$	31 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	資源(びん・かん)	半透明(白)	25 $l$	31 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	25 $l$	31 円	"
	資源(包装プラ)	半透明(桃)	25 $l$	31 円	"
	資源(容器包装紙)	半透明(緑)	25 $l$	31 円	"
津和野町	可燃	オレンジ	20/45 $l$	30/50 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	資源(容プラ)	桃	20/45 $l$	30/50 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	(商品プラ)	黄	"	"	"
	(缶類)	黒縁	"	"	低密度 $\text{PE}$ リフレ
	(びん類)	青縁	"	"	"
吉賀町	可燃	半透明(赤字)	800×600 mm	50 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	"	"	650×500 mm	33.3 円	"
	不燃(びん)	半透明(青字)	400×600mm	50 円	低密度 $\text{PE}$ リフレ
	(か)	半透明(黒字)	650×800 mm	"	"
	資源(容プラ)	半透明(青字)	650×800 mm	50 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	(商プラ)	半透明(黄字)	"	"	"
隠岐の島町	資源+	半透明	690×550 mm	9.975 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
海士町	可燃	チケット		70 円	紙
	不燃	チケット		70 円	紙
	資源	チケット 半透明(黄)	800×650 mm	70 円 "	紙 $\text{PE}$ リフレ(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃・不燃	チケット			
知夫村	可燃	透明(黄)	中/小/特小	100/60/30 円	フレサイト入り $\text{PE}$ リフレ
	不燃	赤		200/1000 円券	
	資源	透明(黄)		140 円	フレサイト入り $\text{PE}$ リフレ
雲南市・飯南町 事務組合 (雲南Iセンター)	可燃	半透明(茶)	20/40 $l$ (手さげ型)	30/44 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ 0.025m/m
	不燃	半透明(青)	20/45 $l$	32/42 円	低密度 $\text{PE}$ リフレ 0.05m/m
	資源	半透明(緑)	20/45 $l$	32/42 円	低密度 $\text{PE}$ リフレ 0.05m/m
雲南市・飯南町 (いいしグリーン センター)	可燃	半透明(黄)	30/45 $l$ 20/40 $l$	42/63 円 30/44 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	不燃	半透明(青)	45 $l$	4.2 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	資源	半透明(緑)	45 $l$	4.2 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
邑智郡総合 事務組合	可燃	半透明(白)	10/25 $l$	31.5/63 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	不燃	半透明(白)	25 $l$	31.5 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	資源(ビン)	半透明(白)	25 $l$	15.7 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ
	資源(カン)	半透明(薄緑色)	45 $l$	"	"
	資源(包装プラ)	半透明(桃色)	45 $l$	"	"
	資源(包装紙)	半透明(黄緑色)	45 $l$	"	"
	資源(ペットボトル)	半透明(水色)	45 $l$	"	"
	粗大	シール	5 枚綴り	31.4 円	紙
鹿足郡不燃物 処理組合	不燃	半透明	45 $l$	50 円	高密度 $\text{PE}$ リフレ

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-4 可燃・不燃ごみ等収集袋・容器の指定状況(事業系)

平成 20 年度

区分 市町村	ごみ区分	色	容 量	値段	材 質
				1 枚あたり	
松江市	可燃	半透明(白)	20/30/45ℓ		高密度ポリエチレン(炭酸カルシウム 10%)
	不燃	半透明(黄)	30/45ℓ		低密度ポリエチレン
浜田市	可燃	黄	800×700 mm	63 円	中密度ポリエチレン
	不燃	黄	800×700 mm	63 円	低密度ポリエチレン
	資源	茶	800×700 mm	31.5 円	低密度ポリエチレン
出雲市	可燃	半透明(乳白)	45ℓ	120 円	高密度ポリエチレン
	不燃	透明(黄・赤)	45ℓ	120 円	低密度ポリエチレン
益田市	可燃	半透明(黄)	800×600/420mm	100 円	高密度ポリエチレン
大田市	可燃	半透明(緑)	45ℓ	100 円	高密度ポリエチレン
安来市	可燃	半透明(黄) + 事業用収集券	15/30/45ℓ	25/35/45 円 100 円	高密度ポリエチレン
	不燃・資源	透明 + 事業用収集券	15/30/45ℓ	25/30/35 円 100 円	低密度ポリエチレン
江津市	可燃・不燃	黄	15/30/45ℓ	15/20/30 円	高密度ポリエチレン袋
雲南市 (雲南工業センター)	可燃	半透明(茶)	20/40ℓ(手さげ型)	30/44 円	高密度ポリエチレン 0.025m/m
	不燃	半透明(青)	20/45ℓ	32/42 円	低密度ポリエチレン 0.05m/m
	資源	半透明(緑)	20/45ℓ	32/42 円	低密度ポリエチレン 0.05m/m
雲南市 (いししグリーンセンター)	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ 20/40ℓ	42/63 円 30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	45ℓ	4.2 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	4.2 円	高密度ポリエチレン
奥出雲町	可燃	半透明	30/45ℓ	10.7 円	炭酸入り高密度ポリエチレン
	不燃	透明(赤)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
	資源	透明(青・緑・黄)	45ℓ	14.8 円	低密度ポリエチレン
飯南町	可燃	半透明(黄)	30/45ℓ 20/40ℓ	42/63 円 30/44 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半透明(青)	45ℓ	4.2 円	高密度ポリエチレン
	資源	半透明(緑)	45ℓ	4.2 円	高密度ポリエチレン
川本町	可燃	半色透明	10/25ℓ	30/60 円	高密度ポリエチレン
	不燃	半色透明	25ℓ	30 円	高密度ポリエチレン
	資源	半色透明(水色・ビ ック・黄緑)	45ℓ	15 円	高密度ポリエチレン
	粗大	シール	5 枚綴り	30 円	
津和野町	可燃	乳白	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	資源(容器)	桃	20/45ℓ	30/50 円	高密度ポリエチレン
	(商品容器)	黄	"	"	"
	(缶類)	黒緑	"	"	低密度ポリエチレン
(びん類)	青緑	"	"	"	
吉賀町	可燃	半透明(赤字)	800×600 mm	50 円	高密度ポリエチレン
	"	"	650×500 mm	33.3 円	"
	不燃(ビン)	半透明(青字)	400×600mm	50 円	低密度ポリエチレン
	(カ)	半透明(黒字)	650×800 mm	"	"
	資源(容器)	半透明(青字)	650×800 mm	50 円	高密度ポリエチレン
(商)	半透明(黄字)	"	"	"	
海士町	可燃	チケット		70 円	紙
	不燃	チケット		70 円	紙
	資源	チケット		70 円	紙
		半透明(黄)	650×800 mm	"	ポリエチレン(酸化鉄配合)
西ノ島町	可燃	チケット			

注)材質は市町村の調査結果を記載している。

表5-5 生ごみ処理機等の購入に対する助成(平成20年度)

市町村名	補助基準	備 考
松江市	補助率 1/2、上限 30 千円 補助率 1/3、上限 100 万円	個人 事業者
浜田市	補助率 1/3、上限 20 千円	電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
出雲市	補助率 1/2、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり年2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
益田市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 15 千円	コンポスト 電気式(補助は120基のみ)
大田市	補助率 1/2、上限 3 千円	1世帯当たり2基まで
安来市	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/3、上限 25 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
雲南市	補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで)または 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
東出雲町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 10 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
斐川町	補助率 1/2、上限 5 千円 補助率 1/2、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機
川本町	補助率 1/2、上限 3 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト(1世帯当たり2基まで) 電気式生ごみ処理機(1世帯当たり1基まで)
津和野町	補助率 1/2、上限 3.5 千円 補助率 1/3、上限 20 千円	コンポスト 電気式生ごみ処理機
西ノ島町	補助率 1/2、上限 20 千円	

## 6. し尿処理の概要

### (1) 衛生処理人口

県内のし尿処理人口及び排出量を表 6-1、衛生処理人口の推移を図 6-1、衛生処理人口の内訳を図 6-2 に示す。

平成 19 年度における県内の水洗化人口は、519,728 人(70%)、非水洗化人口は、220,254 人(30%)である。水洗化人口は前年の約 1.2%増で、平成 15 年度と比べると約 5.7%増加している。

表6-1 し尿の処理人口及び排出量

	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
総人口(人)	760,354	755,527	747,988	744,794	739,982
水洗化人口(人)	491,776	505,707	505,800	513,519	519,728
下水道人口(人)	205,708	222,649	214,672	226,078	238,931
コミュニティ・プラント人口(人)	8,637	4,996	5,063	5,160	4,588
浄化槽人口(人)	277,431	278,062	286,065	282,281	276,209
非水洗化人口(人)	268,578	249,820	242,188	231,275	220,254
計画収集人口(人)	250,481	235,200	229,640	221,134	211,251
自家処理人口(人)	18,097	14,620	12,548	10,141	9,003
総排出量(kℓ/年)	333,213	322,948	320,670	318,213	310,896
し尿計画処理量(kℓ/年)	170,774	156,699	147,040	140,141	131,573
自家処理量(kℓ/年)	11,809	8,661	9,027	6,964	5,684
浄化槽汚泥量(kℓ/年)	147,630	157,588	164,603	171,108	173,639

注) 総人口 = 水洗化人口 + 非水洗化人口

水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口

非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

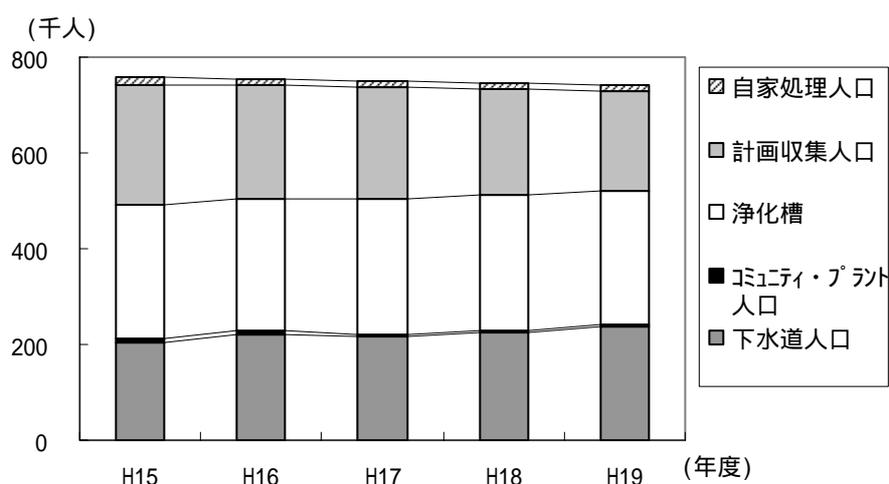
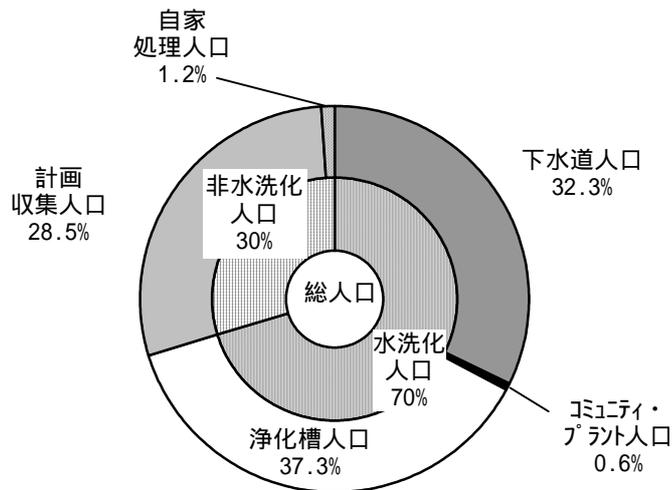


図6-1 衛生処理人口の推移



注) 四捨五入しているため合計が 100%にならない。  
 総人口 = 水洗化人口 + 非水洗化人口  
 水洗化人口 = 公共下水道人口 + コミュニティ・プラント人口 + 浄化槽人口  
 非水洗化人口 = 計画収集人口 + 自家処理人口

図6-2 衛生処理人口の内訳

(2) し尿処理の状況

し尿の処理状況を表 6-2、総処理量の内訳を図 6-3 に示す。

平成 19 年度における県内の総処理量は、310,896kℓで、前年より約 2.3%減少している。内訳は浄化槽汚泥量が 55.9%、し尿処理量が 42.3%、自家処理量 1.8%となっている。し尿 1 人 1 日当たり処理量は 1.71ℓ/人・日、し尿浄化槽汚泥処理量は 1.68ℓ/人・日である。

表6-2 し尿の処理状況

処理区分	平成19年度
総排出量 (kℓ/年)	310,896
し尿計画処理量	131,573
自家処理量	5,684
浄化槽汚泥量	173,639
し尿処理量 (kℓ/年)	131,573
下水道投入	176
し尿処理施設	131,281
農村還元	116
1日1人当たりし尿処理量 (ℓ/人・日)	1.71
1日1人当たりし尿排出量 (ℓ/人・日)	1.71
1日1人当たりし尿浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日)	1.68

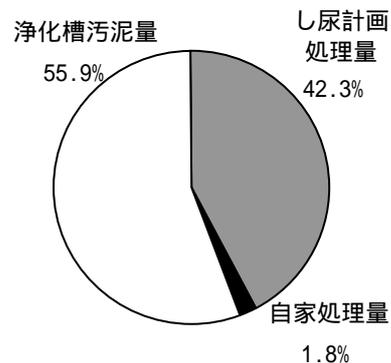


図6-3 総排出量の内訳

注) 処理量に汚泥量は含まず。

総排出量 (kℓ/年) = し尿計画処理量 + 自家処理量 + 浄化槽汚泥処理量  
 1 人 1 日当たりし尿処理量 (ℓ/人・日) = し尿処理量 / 計画収集人口 / 366 日 × 10<sup>3</sup>  
 1 人 1 日当たりし尿排出量 (ℓ/人・日) = (し尿処理量 + 自家処理量(し尿)) / 非水洗化人口 / 366 日 × 10<sup>3</sup>  
 1 人 1 日当たりし尿浄化槽汚泥処理量 (ℓ/人・日) = 浄化槽汚泥処理量 / 浄化槽人口 + コミュニティ・プラント人口 / 366 日 × 10<sup>3</sup>

(3) し尿処理施設

し尿処理施設の状況を表6-3、浄化槽の設置状況を表6-4、浄化槽の設置状況の推移を図6-4に示す。

平成19年度の県内のし尿処理施設数は12施設(処理能力837kl/日)である。また、コミュニティ・プラント数は8施設(計画最大汚水量2,334m<sup>3</sup>/日)である。

浄化槽設置数は合計79,658基で、去年より345基減少している。

平成19年度の浄化槽設置基数(個人設置型)は551基である。

表6-3 し尿処理施設の状況

区 分	し 尿 処 理 施 設						コミュニティ・プラント
	好二段	標 脱	高負荷	高負荷膜分離	高負荷一次処理	合計	
施 設 数	1	2	5	3	1	12	8
規 模 (kl/日)	40	117	268	342	70	837	2,334

注1) 好二段.....好気性処理のうち二段活性汚泥処理方式  
 高負荷.....高負荷脱窒素処理方式  
 一次処理...一次処理後に下水道に放流

標脱...標準脱窒素処理方式(旧低二段)  
 膜分離...膜分離処理方式

注2) コミュニティ・プラントの規模は計画最大汚水量。単位は、m<sup>3</sup>/日。

表6-4 浄化槽の設置状況

区 分	浄 化 槽 設 置 基 数				
規 模	100人以下	101～500人	501～1,000人	1,000人以上	合計
設 置 数	78,013	1,413	129	103	79,658

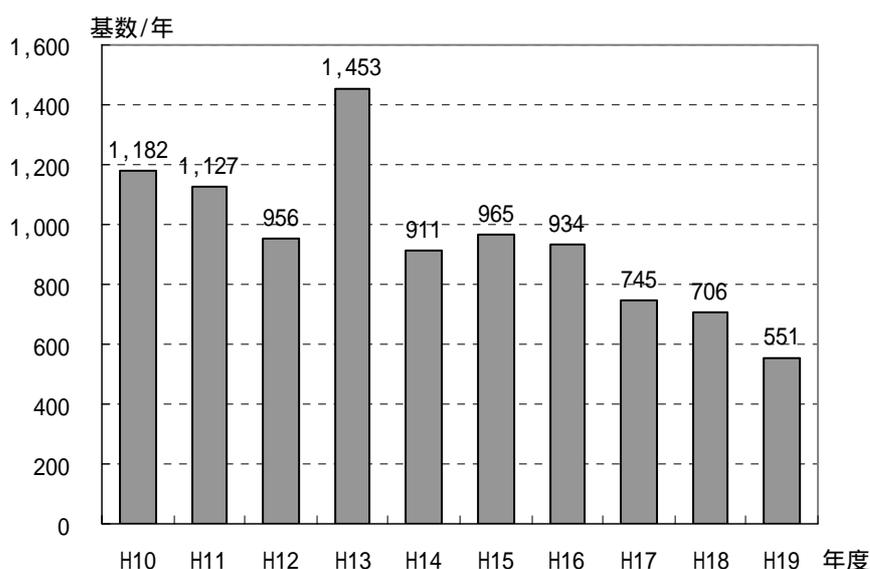


図6-4 浄化槽設置基数(個人設置型)の推移

## 7. 一般廃棄物処理事業の実態

### 7-1 廃棄物処理事業経費の概要

#### (1) 県全体の廃棄物処理事業経費の概要

県全体における廃棄物処理事業経費の推移を図 7-1 に、歳入の内訳を表 7-1、歳出の内訳を表 7-2、廃棄物処理経費の内訳を図 7-2、ごみ処理の歳入の内訳を図 7-3、し尿処理の歳入の内訳を図 7-4 に示す。

平成 19 年度の島根県における廃棄物処理事業経費の総額は 12,131,236 千円であり、前年より約 4% 減少している。経費の内訳はごみ処理が 10,396,078 千円、し尿処理が 1,735,158 千円である。

市町村及び事務組合における廃棄物処理事業経費の歳入、歳出の内訳を表 7-3～6 に示す。

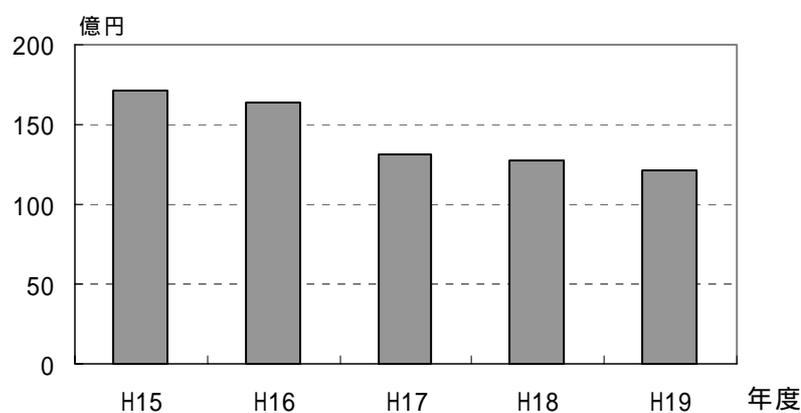


図 7-1 廃棄物処理事業経費の推移(県全体)

#### (2) 地区別のごみ処理事業経費の概要

地区別におけるごみ処理経費の歳入の内訳を表 7-7、歳出の内訳を表 7-8、地区別の内訳を図 7-5 に示す。

地区別におけるごみ処理経費は、松江地区が 4,642,432 千円 (44.7%) と最も多く、次いで浜田地区 3,123,979 千円 (30.0%)、出雲地区(21.2%)、隠岐地区 (4.1%) となっている。

表 7-1 歳入の内訳(県全体)

(平成 19 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	〔 市町村 分担金 〕	その他		
ごみ	580,744	1,420	1,101,800	1,746,494	1,481,987	858,523	6,107,097	10,396,078
し尿	2,250	0	0	289,823	377,898	52,035	1,391,050	1,735,158
計	582,994	1,420	1,101,800	2,036,317	1,859,885	910,558	7,498,147	12,131,236

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-2 歳出の内訳(県全体)

(平成 19 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	〔 組合 分担金 〕	小計	人件費	処理費			車両等 購入費	委託費				〔 組合 分担金 〕	調査 研究費			小計
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	649,103	33,003	734	95,086	14,832	777,926	2,088,970	100,152	1,175,592	145,651	5,487	2,032,203	1,764,479	140,845	86,008	1,467,155	16,841	7,556,228	2,061,924	10,396,078
し尿	0	10,706	0	0	4,377	0	15,083	357,735	10,861	934,546	0	0	94,421	253,867	3,121	5,683	377,898	3,187	1,663,421	56,654	1,735,158
計	0	659,809	33,003	734	99,463	14,832	793,009	2,446,705	111,013	2,110,138	145,651	5,487	2,126,624	2,018,346	143,966	91,691	1,845,053	20,028	9,219,649	2,118,578	12,131,236

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

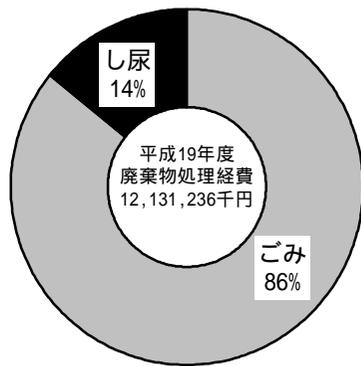


図 7-2 廃棄物処理経費の内訳 (県全体)

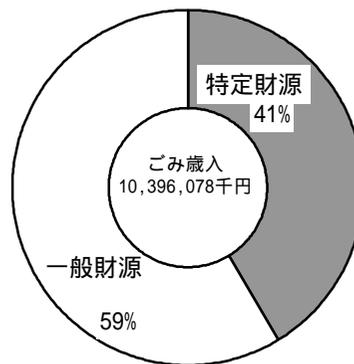


図 7-3 ごみ処理の歳入の内訳(県全体)

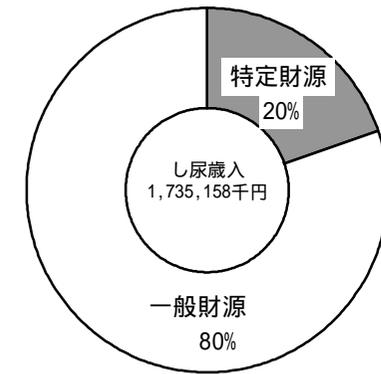


図 7-4 し尿処理の歳入の内訳 (県全体)

表 7-3 歳入の内訳(市町村) (平成 19 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源					一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	その他		
ごみ	252,049	1,420	1,101,800	1,558,059	833,312	6,053,353	9,799,993
し尿	2,250	0	0	248,652	49,456	1,370,443	1,670,801
計	254,299	1,420	1,101,800	1,806,711	882,768	7,423,796	11,470,794

表 7-4 歳出の内訳(市町村) (平成 19 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	組合 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				組合 分担金	調査 研究費			小計
	収集運 搬施設	中間処 理施設	最終 処分場	その他					収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
ごみ	0	282,821	17,468	0	89,733	14,832	404,854	1,720,036	97,357	909,044	136,891	5,487	1,867,662	989,285	128,868	77,115	1,467,155	8,682	7,407,582	1,987,557	9,799,993
し尿	0	10,706	0	0	4,377	0	15,083	211,992	0	728,617	0	0	91,414	205,462	290	2,881	377,898	900	1,619,454	36,264	1,670,801
計	0	293,527	17,468	0	94,110	14,832	419,937	1,932,028	97,357	1,637,661	136,891	5,487	1,959,076	1,194,747	129,158	79,996	1,845,053	9,582	9,027,036	2,023,821	11,470,794

表 7-5 歳入の内訳(事務組合) (平成 19 年度, 単位: 千円)

歳入	特 定 財 源						一般財源	合 計
	国 庫 支出金	県支出金	地方債	使用料 手数料	市町村 分担金	その他		
ごみ	328,695	0	0	188,435	1,481,987	25,211	53,744	2,078,072
し尿	0	0	0	41,171	377,898	2,579	20,607	442,255
計	328,695	0	0	229,606	1,859,885	27,790	74,351	2,520,327

表 7-6 歳出の内訳(事務組合) (平成 19 年度, 単位: 千円)

歳出	建設・改良費															調査 研究費	小計	その他	合計
	工事費				調査費	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費							
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他				収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他				
ごみ	0	366,282	15,535	734	5,353	387,904	368,934	2,795	266,548	8,760	0	164,541	775,194	11,977	8,893	8,159	1,615,801	74,367	2,078,072
し尿	0	0	0	0	0	0	145,743	10,861	205,929	0	0	3,007	48,405	2,831	2,802	2,287	421,865	20,390	442,255
計	0	366,282	15,535	734	5,353	387,904	514,677	13,656	472,477	8,760	0	167,548	823,599	14,808	11,695	10,446	2,037,666	94,757	2,520,327

表 7-7 地区別ごみ処理経費の歳入の内訳（地区別）（平成 19 年度, 単位：千円）

歳入	特 定 財 源					一般財源	合計	
	国庫支出金	県支出金	地方債	使用料及び手数料(市町村分担金)	その他			
松江地区	218,618	0	1,086,700	652,254	0	310,163	2,374,697	4,642,432
出雲地区	0	1,420	15,100	627,783	488,545	331,259	1,222,958	2,198,520
浜田地区	362,126	0	0	386,654	993,442	194,551	2,180,648	3,123,979
隠岐地区	0	0	0	79,803	0	22,550	328,794	431,147
合計	580,744	1,420	1,101,800	1,746,494	1,481,987	858,523	6,107,097	10,396,078

注) 市町村分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

表 7-8 地区別ごみ処理経費の歳出の内訳（地区別）（平成 19 年度, 単位：千円）

歳出	建設・改良費							処理及び維持管理費											その他	合計	
	工事費				調査費	(組合) 分担金	小計	人件費	処理費			車輛等 購入費	委託費				(組合) 分担金	調査 研究費			小計
	収集 運搬	中間処理	最終処分	その他					収集 運搬費	中間 処理費	最終 処分費		収集運 搬費	中間 処理費	最終 処分費	その他					
松江地区	0	232,547	16,785	0	25,709	0	275,041	985,927	16,790	518,869	72,724	5,264	728,394	610,402	23,465	21,577	0	124	2,983,536	1,383,855	4,642,432
出雲地区	0	20,265	15,535	0	0	0	35,800	356,625	12,523	279,568	44,434	223	688,118	138,340	15,721	54,204	488,545	4,058	1,593,814	568,906	2,198,520
浜田地区	0	396,291	683	734	69,377	14,832	467,085	569,675	53,525	241,322	15,275	0	611,743	944,032	93,252	6,248	978,610	12,659	2,547,731	109,163	3,123,979
隠岐地区	0	0	0	0	0	0	0	176,743	17,314	135,833	13,218	0	3,948	71,705	8,407	3,979	0	0	431,147	0	431,147
合計	0	649,103	33,003	734	95,086	14,832	777,926	2,088,970	100,152	1,175,592	145,651	5,487	2,032,203	1,764,479	140,845	86,008	1,467,155	16,841	7,556,228	2,061,924	10,396,078

注) 組合分担金とは、一部事務組合を構成する市町村の一部事務組合に対する負担金であり、一部事務組合の処理事業経費に充てられるため、合計には含まない。

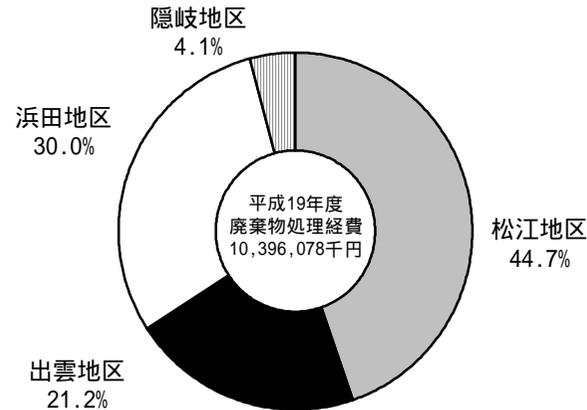


図 7-5 地区別の内訳

## 7-2 廃棄物処理事業従事職員

県内の市町村及び事務組合における廃棄物処理事業従事職員の状況を表 7-9 に示す。  
平成 19 年度末における廃棄物処理事業従事職員数は合計 381 人である。  
内訳は、ごみ処理が 331 人、し尿処理が 50 人である。

表 7-9 従事職員の状況 (単位:人)

区 分	ご み		し 尿		合 計		総 計	
	市町村	事務組合	市町村	事務組合	市町村	事務組合		
一般職	事務系	133	15	11	4	144	19	163
	技術系	68	14	13	12	81	26	107
技能職	収集・運搬	49	0	0	0	49	0	49
	中間処理	23	21	4	3	27	24	51
	最終処分	6	2	0	0	6	2	8
	その他	0	0	3	0	3	0	3
合 計		279	52	31	19	310	71	381

## 7-3 委託・許可件数

県内の委託・許可件数の状況を表 7-10 に示す。  
平成 19 年度末における委託・許可件数は市町村では 390 件、事務組合では 62 件である。

表 7-10 委託・許可件数の状況 (単位:件数)

区 分	区 分	市町村	事務組合
		ごみ	委託業(法第6条)
	許可業(法第7条)	230	32
し尿	委託業(法第6条)	5	0
	許可業(法第7条)	60	7
合 計		390	62

## 7-4 一般廃棄物処理業者等関係

平成 19 年度末における一般廃棄物処理業者数、従業員数の状況を表 7-11, 12 に示す。

表 7-11 一般廃棄物処理業者状況

区 分	ご み	し 尿	合 計
業者数	151	43	176

注) ごみとし尿を兼業している業者は重複計上となるため、合計値は業者数の実数で表す。

表 7-12 一般廃棄物処理業従業員数の状況

区 分	収集運搬	中間処理	最終処分	合計
従業員数	1,606	183	21	1,704

注) 兼務職員は重複計上となるため、合計値は従業員数の実数で表す。

## 8. ダイオキシン類対策等の状況

市町村が設置している一般廃棄物焼却施設のダイオキシン類濃度測定結果について表8-1に示す。

表8-1 一般廃棄物焼却施設における排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

施設 の 名 称	集塵 方式	ダイオキシン類濃度測定値(ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )				備考
		今回調査結果 (H19.4.1~ H20.3.31)	(H16.12.1~ H17.11.30)	H15.12.1~ H16.11.30	H14.12.1 からの 排出基準	
松江市 南工場	BF	0.0075	0.014	0.042		
〃 北工場	EP	0.13 0.12	0.032 0.044	0.060 0.072	1.0	
安来市 清瀬クリーンセンター	BF	- -	6.4 3.7	(1.5) (3.4)	10	休止中
奥出雲町 ごみ焼却施設	BF	0.37 0.05	0.049 0.084	(0.73) (0.18)	5.0	
出雲市 出雲エネルギーセンター	BF	0.0000057 0.0000094	0.00024 0.00043	0.0000027 0.0000025	0.1	
邑智郡総合事務組合 笹畑クリーンセンター	BF	0.81	0.24	0.34	10	
浜田地区広域行政組合 エコクリーンセンター	BP	0.00057 0.00027	0.0012 0.00030	-	0.1	
益田地区広域市町村圏事務組合 益田清掃工場	EP	-	0.73	4.7	5.0	休止中
隠岐の島町 清掃センター	BF	3.8	3.6	3.9	10	
海士町清掃センター	BF	0.11	0.23	0.43	5.0	
西ノ島町ごみ焼却場 清美苑	BF	0.0001	4.7	3.0	10	
雲南市・飯南町事務組合 雲南エネルギーセンター (RDF)	MC・BF	0.089	0.057	0.031	-	
知夫村	*	3	3.2	3.4	10	

注)1 集塵方式において、EP=電気集じん器、MC=マルチサイクロン、CC=キャスタブル成形サイクロン、BF=バグフィルター、\* = 二次燃焼重力沈降方式。  
2( )内は測定期間外の数値。